

日時 2018年6月22日[金]
10:00—12:00 [9:30 開場]

湘南会議が挑んだ100の難問
それは、未来への一歩だ。

開会挨拶 所長 喜連川 優
来賓挨拶 神奈川県
湘南会議概要説明 教授 胡 振江

基調講演 1 10:30—11:00

How Dagstuhl meetings have changed and remained the same over the years

Professor Raimund Seidel

(Scientific Director, Schloss Dagstuhl/Saarland University)

基調講演 2 11:00—11:30

The Coq proof assistant: principles, examples and main applications

Professor Pierre Casteran

(University of Bordeaux)

パネルディスカッション 11:30—12:00

10年後の湘南会議へ期待すること

パネリスト Professor Raimund Seidel, Professor Pierre Casteran,
教授 河原林健一

コーディネータ 教授 胡 振江

閉会挨拶 副所長/運営委員会委員長 相澤彰子

※使用言語 英語 (通訳なし)

主催 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

TEL : 03-4212-2165, 2862, 2062 FAX : 03-4212-2150

URL : <http://www.nii.ac.jp/shonan/> E-mail : shonan@nii.ac.jp

後援 神奈川県

*本プログラムは変更となる場合もありますのでご了承ください。



国立情報学研究所 湘南会議 100 回記念シンポジウム

湘南会議は、アジア初となるダグstuhlセミナースタイルの会議として、2011年2月にスタートしました。世界トップレベルの研究者が、情報学分野における未解決問題を合宿形式で集中的に議論する場として、情報学の難問を解決するために叡智を分け合うとともに、未来に貢献する価値を創成し、情報学の発展に寄与することを目指します。

2017年10月に100回目のセミナーを迎え、これまでのセミナー総参加者は、日本を始めとする56の参加国・地域より延べ2,450人が集い、新たな研究テーマの創出について議論を交わしました。



1

セミナーにおけるオーガナイザーの仕事は、トピックの提案と参加者の選出

オーガナイザーは、セミナーのトピックを提案し、そのトピックに関して十分に議論できる参加者を選出することに専念します。招待状の送付や宿泊手配などの事務作業は湘南会議のスタッフがサポートします。

- 学術審査委員会の審査を通過したセミナーの企画をもとに開催します。
- オーガナイザーは第一線で活躍する研究者から構成され、アジアからのオーガナイザーが必ず1名参加します。
- セミナーの参加者は、学界・企業から構成されます。

2

アジアで世界トップクラスのセミナー

湘南会議には事前に決められたプログラムはなく、参加者による議論の中で具体的なプログラムが形成されていきます。参加者には自分の研究やアイデアを積極的に提示することが求められます。

3

セミナーに集中できる環境

湘南会議の開催は、神奈川県と協定を結び、連携協力して湘南国際村センターにて実施しています。当センターは、東京の喧騒から離れた葉山の丘の上にあり、眼下に相模湾、遠くに富士山を望む素晴らしいロケーションで、セミナーに集中できる環境です。また、宿泊や会場手配、エクスカーションなど、当センターと連携し支援体制を整えています。

ダグstuhlセミナーとは？ ドイツのダグstuhlで情報学における世界トップレベルのセミナーが、毎週のように開催される。約1週間、合宿形式で、トピックに基づいた議論を集中的に行うことで有名である。

Dagstuhl



セミナー企画公募中 !!

年2回 6月15日、12月15日締切

詳細は、下記WEBサイトをご覧ください。

<http://www.nii.ac.jp/shonan/>

Call
for
Proposal

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立情報学研究所
National Institute of Informatics